

高校生の海外ボランティア活動 セブ島プログラム



海外を知り人生を踏み出すキッカケにしてほしい

海外ボランティアって・・・

- 海外に行って、子供たちに夢を与え、自分自身も、子供たちから元気もらう。そんな活動です。
- 日本では体験できない「異文化」を享受することで、自分の人間力を上げることができます。

2025年、設立37年になります

海外ボランティア派遣団体の草分け企業として培った経験を活かし、時代時代で望まれることが変わる中、設立時から変わらぬお客様の「価値観」と「視野」を広げたい思いを原点に、優れた海外ボランティア活動を提供し続けること。それがCECの使命と考えています。皆様からのお声を糧とし、これからも、一步一步着実に歩みを進めて行こうと思えます。今後も変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

なぜ海外でボランティアするの

もちろん、日本国内でも数多くのボランティア活動が身近にあります。

ボランティアは人とつながりを広げ、自分を磨くための機会です。

日本でも海外でも、始めるキッカケはどこでも良い、そう考えています。

海外でボランティア活動を経験し、現地で会った人たちとの交流が人生の前向きな分岐点

になります。そんな皆様のために、活動の内容を精査し、価値ある海外体験になるための

手配、そして滞在中の最大限のサポートを行うことに自信をもって取り組みます。

INDEX

P04-P12 **セブ島（フィリピン） スラム街や貧困地域に住む子供達への支援活動**

P10-P15 **バリ島 幼稚園、孤児院、日本語、寺院、ホームステイ**

P16-P23 **タイ 孤児スクールボランティア、日本語教室**

※ 各プログラムに関しては該当する WEB ページにより詳しい詳細を載せています。また、参加者の皆様からいただいた言葉や感想文も順次 WEB ページでご案内していますので、合わせて御覧ください。

※ この資料は高校生向け専用資料です。一般（学生、社会人）向けのプログラムはこの資料でご案内している国以外にも多くの活動先があります。

CEC 高校生「トビタテ留学 Japan」での実績

文部科学省が展開する「トビタテ！留学 JAPAN」は、日本の若者の海外留学への気運を醸成する官民協働の留学促進キャンペーンです。高校生向けに官民協働で 2014 年から実施している海外留学支援制度。返済不要の奨学金や事前事後研修等の支援で、意欲ある学生の海外体験チャレンジを応援します。

この留学制度はコロナのために中断された形になりました。収束後、国としてどうするかはまだわかりませんが、2014 年以降多くの高校生が応募し、高校生の海外体験への興味とチャレンジ精神がより、深まっていると感じます。

CEC はこの「トビタテ！留学 JAPAN」の協力エージェントとして多くの「国際ボランティア」分野の高校生を受入してきました。その経験が私達の自信にもなっています。

保護者様へのおねがい

高校生として、自ら、海外でボランティアしたい！という気持ちをもつ方は、不安はあるけれど、それよりも世界を見たい、自分がどこまでやれるのか試してみたいという強い気持ちを持った自立心のある学生様だと信じています。そういったお子様の自主性を、是非、保護者の皆様も応援してあげてください。海外でボランティアすることは、語学学校で語学だけを勉強するよりも、TV などのマスメディアからの情報ではない、生の現地の事情、自分がどう感じるのか、何ができるのかなど、多くのことを体験し、考え、感じ、学ぶことができます。これは私達が、海外ボランティア、文化体験プログラムに特化したプログラム作りを長年手がけてきて、自信をもってそう断言できます。

親元を離れ、他人との共同生活をするのはきっと初めての方が多いでしょう。住みなれた家を離れ、海外では、自己管理をしながら生活をし、ボランティア活動も行います。食事も日本の家のご飯とは違います。同じ部屋の子たちとうまくやっていけるか不安もあります。どんな人でも、はじめの数日は戸惑い、ストレスがたまります。

でも、ご安心ください、高校生のみなさんは親御様が考えている以上に強く、しっかりしています。自分のことは自分でやらないといけないと思えば、そこで覚悟が生まれます。いままでにない責任感を持ち、また柔軟に対応していける年頃でもあります。

海外でボランティアしたいというモチベーションを持った皆さんは前向きです。もちろん個人の性格はさまざまですが、出会ったばかりでも、同じ志を持っているので、以前から知っている友達のように接することができ、ほんの 2-3 日で、互いに助け合いながら、良いチームができあがります。

現地では私達の現地コーディネーターが責任を持って、できる限り最大限のサポートをいたします。決して手取り足取りという意味ではなく、本当に困ったときには私達がいます。安心して送り出してあげてください。

Cebu 眩しい太陽の下に豊かな自然、そして格差社会

セブ島 高校生地域開発活動

青い空、コバルトブルーの海、珊瑚礁…セブ島は、南国のリゾートとして人気の高い場所です。しかしこの国は格差社会の場所でもあります。スラムに住む子どもたちはそこで育ち、家族をもちます。いつまで経っても貧困生活から抜け出すことができないのです。

でも、最初の第一歩になるサポートがあれば貧困の生活を抜け出せる可能性があります。そんなサポートの担い手が NGO 組織です。地域開発活動では複数の NGO 組織を通じ、地域に根付く貧困問題に取り組む様々な活動を体験します。活動は他の高校生や大学生のみなさんと一緒に行います。

スラム街の子どもたち、ストリートチルドレン、孤児などを支援

食の支援と教育支援から少しでも現状の生活環境を改善するサポートをしたい。



空腹では勉強できない・・・だからまずは食べる機会を提供しよう、そういった考えを共有する人たちと一緒にセブで NGO を立ち上げました。

SLPC <https://go-cebu.com/> と称します。

現地の人たちが現地の子供達のためになることを進んで行うこと。短期滞在の外国人にはできないサポートの仕方があるはず。この SLPC が CEC からのボランティアの皆さんの活動をしっかりサポートしています。

Volunteer Program for High School Students

CEC Japan Network

Cebu セブ・地域開発活動

NGOの取り組みを体験することにより、現在貧困問題が大きな課題になっているアジアの国の現状を見る機会になります。また、貧困地区の現状を視察し、教育、食育、交流活動を通して、厳しい生活環境にある子どもたちに少しでも楽しい時間を提供し、今後どのような取り組みが必要になるか考えてもらうのが目的です。

国際開発、貧困問題、福祉、保育などに興味あるかた、本気で取り組みたい方向けの活動です。



墓場で暮らす子供たちの応援活動

セブ市内の墓場で暮らす家族の子供たちの教育や福祉のサポートをする牧師と一緒に活動にしています。



Volunteer Program for High School Students

CEC Japan Network

Cebu セブ・地域開発活動

移動式の給食配給活動：

セブ市内の貧困地区の子どもたちと遊んだ後に夕食を提供します。子どもたちの長い列ができます。



市内のスラムから強制的に移住させられた山村集落

参加者が作ったコロッケをパンにはさんだコロッケバーガーを山の子供達に提供、とても好評！



市内のストリートチルドレンに昼食提供

現地 NGO が運営するストリートチルドレンへの給食サポート活動に参加します。



※ 他にもゴミ山や海上スラムなど、たくさんの活動先があります。

Cebu セブ・高校生地域開発活動 サンプルスケジュール

1日目	日本各地からセブに到着します 滞在先でオリエンテーションを受けます
2日目	午前中バディとの交流 午後から教会周辺のストリートチルドレンとの交流
3日目	午前中バディとの交流 午後から墓地スラムの子供たちとの交流
4日目	終日フリー 観光、リゾート、ショッピングなどご自由に
5日目	午前中バディとの交流 午後から海上スラムの子供たちとの交流
6日目	午前中バディとの交流 午後から現地の高校生との交流やゴミ山訪問など
7日目	帰途につきます。

※ 春、夏休みに高校生対象の活動期間を設けています。おひとりでも、到着した時から他の高校生と一緒にになり、すぐに仲良くなりますので安心してお申込みください。

<https://www.cecj.net/program/cebu/highschool.html> を参照ください。

※ スケジュールはその時の現地の天候などの都合により変更されることがあります。

※ プログラム参加費用 <https://www.cecj.net/program/cebu/price.html>

ボランティアと語学研修の同時体験

フィリピンは約 300 年間スペインの統治を受けていました。その後、アメリカがおよそ 50 年間この国を治めていた時期があります。その時に英語が公用語になり、独立した今も公的な場所では英語が利用されています。そんなセブではみなさんの英語能力を高める機会があります。

オプションプラン 1) 英会話セッション

ボランティアの活動の合間に英語会話を磨く機会を提供します。例えば午前中に CAFE などを利用して英会話の時間を行います。午後ボランティア活動をおこないます。最大 3 人までの小人数制のセッションです。

このプランは英語を流ちょうに話すフィリピン人を話し相手として皆さんの会話レベルを上げるためのトレーニングです。活動時間の合間を利用するため、ボランティアの時間を削るものではありません。春・夏休みの時期などは希望者が多くなり希望どおりに英会話の時間がとれないこともありますのでご了承ください。この英会話の時間はオプションです。別途料金がかかります。

セブの現地コーディネーター& アシスタント

セブでの活動をはじめて 2025 年で 19 年になりました。信頼できるコーディネーターやアシスタントスタッフが参加者のみなさんの活動サポートをおこないます。

コーディネーターやアシスタントとは英語を使って話します。日本語に頼らずに自分の気持ちを伝える機会になります。もちろん緊急時には日本語でいつでも相談できる体制をもっていますので安心してご参加ください。

Cebu セブ コロナ後の体制

- 2年間の新型コロナ感染のためにセブでの活動もできませんでした。
2022年に再開できるようになり、私たちの仕事の仕方も大きく変わりました。
2024年現在、セブ現地での受け入れ体制がコロナ以前と大きく変わりました。

※ コロナ収束後のプログラム対応 ※

コロナ前と比べて現地での対応を変えていく必要があります。

宿泊する場所、食事などに関してニューノーマルに対応するために新しい基準で取り組みます。詳しくは下記のページをご覧ください。

https://www.cecj.net/service/cebu_aftercorona.html

※ バディとの交流の機会 ※

コロナが緩和されて以降、多くの高校生、大学生の人たちが参加していただいているプログラムですが、そのなかでみなさんに一番評判が良いのが現地の同世代の人たちとの交流です。

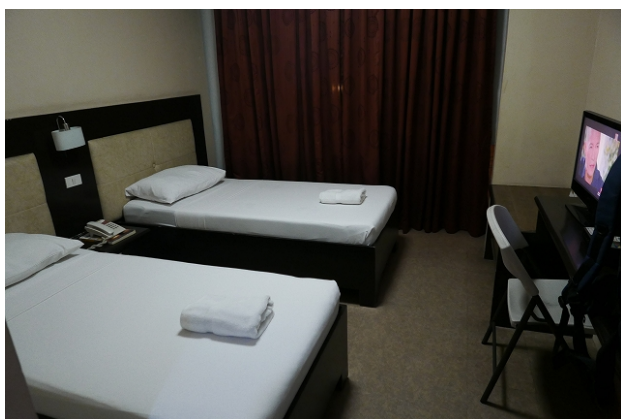
私たちが小学校の時から教育支援をしてきた若者が、現在大学生や高校生になり、皆さんのプログラムの応援をしています。これが長くセブで活動を続けてきたからこそできる、CECのプログラムの大きな特徴です。



Cebu セブ 宿泊施設案内

初めての一人旅だから、本当に安心できるところを厳選

アジアでの海外ボランティア、スタディツアーで使われる宿舎は衛生環境の良くないところを利用することが多く見受けられます。理由としては、活動先地域にホテルがない、または参加費用を抑えるために安価な施設を利用しているからです。CECがセブで利用する参加者用の宿舎は豪華なホテルというわけではありませんが、衛生的にも、治安的にも十分満足していただけるところを選んでいきます。他の参加者のみなさんと一緒にわきあいあいと滞在できる宿舎です。初めてでも、お一人でも、安心してお申込みください。



セブのプログラムで利用する宿舎の部屋の例、1部屋2名までの利用とします



宿舎ロビーで参加者のみなさんと日本人スタッフとの初日のミーティングの様子 現地コーディネーターによるオリエンテーション。他の参加者とすぐに良い友人になります。

Cebu セブ 参加者の声

● 今回のボランティアを通じて、世界中でもっと自分ができることがあると気づくことができましたし、人生に対する考え方が変わりました。今まではストリートチルドレンの子供達を見ると、可哀想に思ったり、申し訳なく思ったりしていたのですがそうではなく、今回のような実際に子供に触れ合っ一緒に遊んであげる、何かを教えてあげることが本当の意味での貢献なのだと思います。現地に行って現実を目の当たりにしたり、子供達と接したりして感じることに、考えることも多かったのですが、コーディネーターの2人からも沢山のことを学ばせて頂きました。仕事の範疇を超えて、本当の友達のように私たちのことを考えて接してくれる2人の姿に感動しました。また、2人がフィリピンが抱える問題や文化、どうやったら意味のある貢献できるのかといったことも色々教えてくれました。2人のサポートがなければ今回のような充実したボランティアはできなかったと思います。これからも継続的に、できれば年に1回くらいはボランティアの旅に行きたいと思ってます。

たくさんの「参加者の声 <https://www.cecj.net/voice?country=%E3%82%BB%E3%83%96> 」と「感想文 <https://www.cecj.net/report?country=%E3%82%BB%E3%83%96> 」をご覧ください。

フリーな日はビーチでリゾート気分 (ビーチへのオプションツアー)



せっかくセブに来たのだから、綺麗な海を満喫しましょう。セブはダイビングのスポットとして有名です。ご参加時の天候具合により行けない場合もあります。

申込手続きの流れ

説明会・個人面談への参加

説明会は ZOOM を利用して行います。下記のページからご覧ください。

<https://www.cecj.net/seminar/index.html>

オンラインで申込み

お申し込みは WEB からの受付とさせていただいております。お申し込みフォームは下記のページです。

<https://www.cecj.net/program/cebu/application.html>

参加条件を良くお読みいただき、ご承諾のうえお申し込みをお願いいたします。申込フォームを送信後、営業日 3 日以内に申込金をお振り込みください。この申込金はプログラム費用の一部金です。プログラム費用に追加してお支払いいただくものではありません。

CEC の銀行口座

三井住友銀行 新大阪支店 普通預金口座 3781412

口座名義 シーイーシージャパンネットワーク株式会社

手配開始

申込金と申込書の両方を頂いた時点で申込み完了とさせていただき、現地に受入の空席確認を致します。

申込み以前に空席があっても、申込み完了時点で満席になっている場合もございます。その際は、プログラムを変更されるか、またはお申込金を全額返金いたします。仮予約は受け付けていませんので、悪しからずご了承ください。

渡航関係手配

旅券（パスポート）はご自身にて申請、ご用意ください。

航空券手配は、弊社経由（CEC の協力旅行会社を紹介いたします）、ご自身手配どちらでも結構です。ただし、空港送迎手配、現地滞在可能日の関係上、ご自身にて航空券手配希望の方は必ず、事前にその旨、プログラム担当者にご相談、確認いただいてから手配ください。

海外旅行傷害保険はプログラムお申し込み後、保険のパンフレットのご案内をいたします。

現地でコロナ陽性になった場合など、海外保険のおかげで金銭的負担が大きく減ります。CEC から案内します。

Volunteer Program for High School Students

CEC Japan Network



参加費用のお支払いと必要書類

御出発の4~3週間程度前にプログラム費用から申込金を引いた残金のご請求をさせていただきます。現地の宿泊先や滞在中の注意事項などのオリエンテーション書類はメール添付（あるいは郵送）でお届けいたします。

CECジャパンネットワーク（株）

1988年から国際教育プログラムとしての海外ボランティア活動を取り扱っています。設立当初はイギリスNGOの日本事務局としての窓口業務からスタートし、現在はアジアの国々でのボランティア活動への派遣作業にも力を入れています。これまでに参加頂いたみなさまの数は10,000人に達します。

CECは個人様向けの手配以外にも、企業、大学や専門学校などのグループ海外研修の手配を行います。

J A O S 留学協議会の正会員として、現在の留学界に貢献する意志をもって活動します。

532-0003 大阪市淀川区宮原 1-16-2-604

Tel06-6397-7030 e-mail info@cecj.net

緊急時の電話番号 070-5650-1843（担当者携帯番号、夜でも受けます。）

お問い合わせフォーム <https://www.cecj.net/contact/index.html>

